

「秋田大学国際交流センター設立記念講演会」資料

秋田大学の国際交流について
工学資源学部の「歩みと展望」

秋田大学工学資源学部情報工学科
玉本英夫

平成20年12月12日（金）

工学資源学部の沿革

- 明治43年4月 秋田鉱山専門学校(採鉱学科・冶金学科)
- 昭和24年5月 秋田大学鉱山学部設置
- 昭和40年4月 秋田大学鉱山学研究科修士課程設置
- 平成 6年4月 秋田大学鉱山学研究科博士課程設置
- 平成10年4月 秋田大学工学資源学部設置
- 平成14年4月 大学院工学資源学研究科設置

博士前期課程 (地球資源学専攻, 環境物質専攻, 材料工学専攻,
情報工学専攻, 機械工学専攻, 電気電子工学専攻, 土木環境工学専攻)

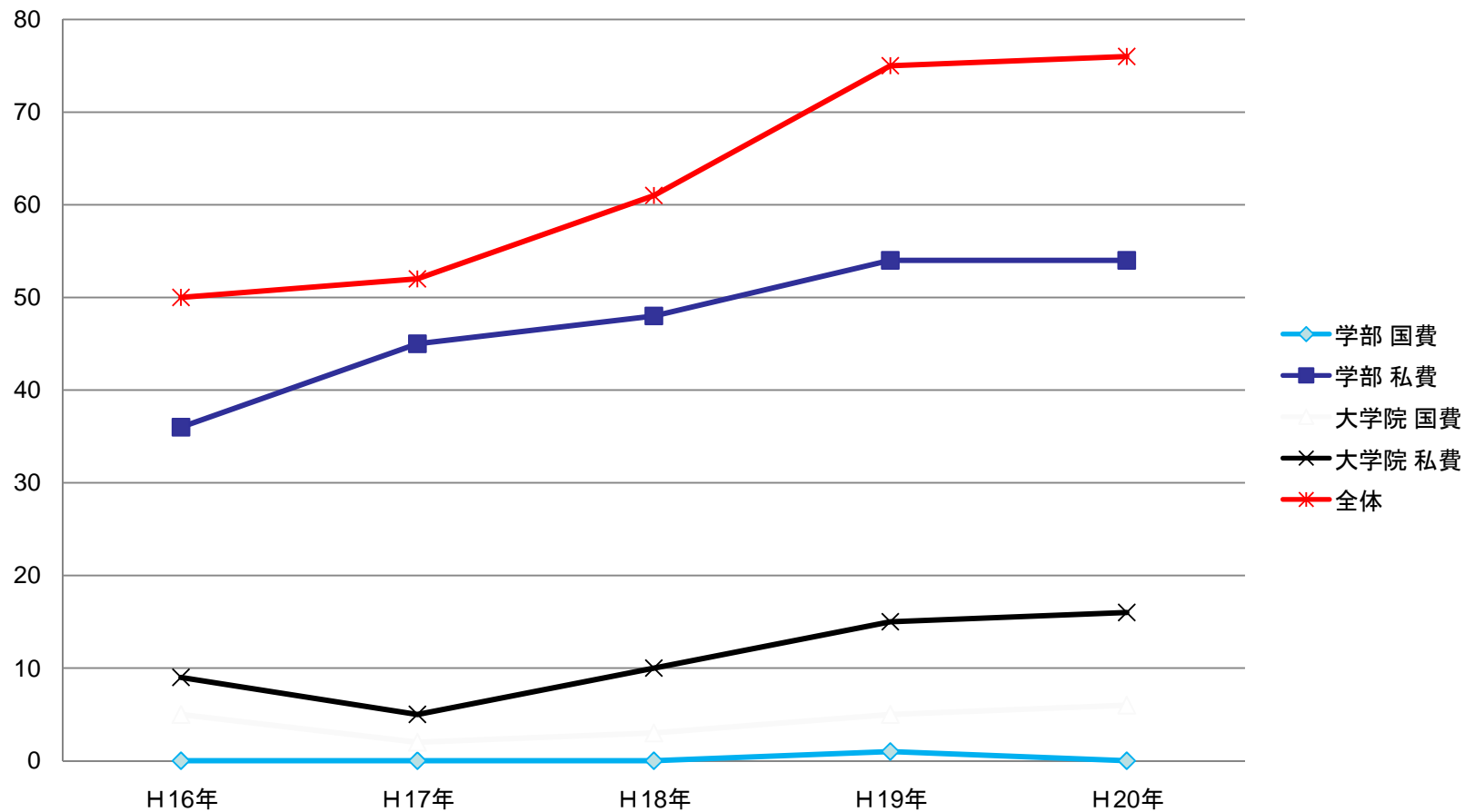
博士後期課程 (資源学専攻, 機能物質工学専攻, 生産・建設工学
専攻, 電気電子情報システム工学専攻)

工学資源学部 (定員460名) :

地球資源学科, 環境応用化学科, 生命化学科, 材料工学科,
情報工学科, 機械工学科, 電気電子工学科, 土木環境工学科

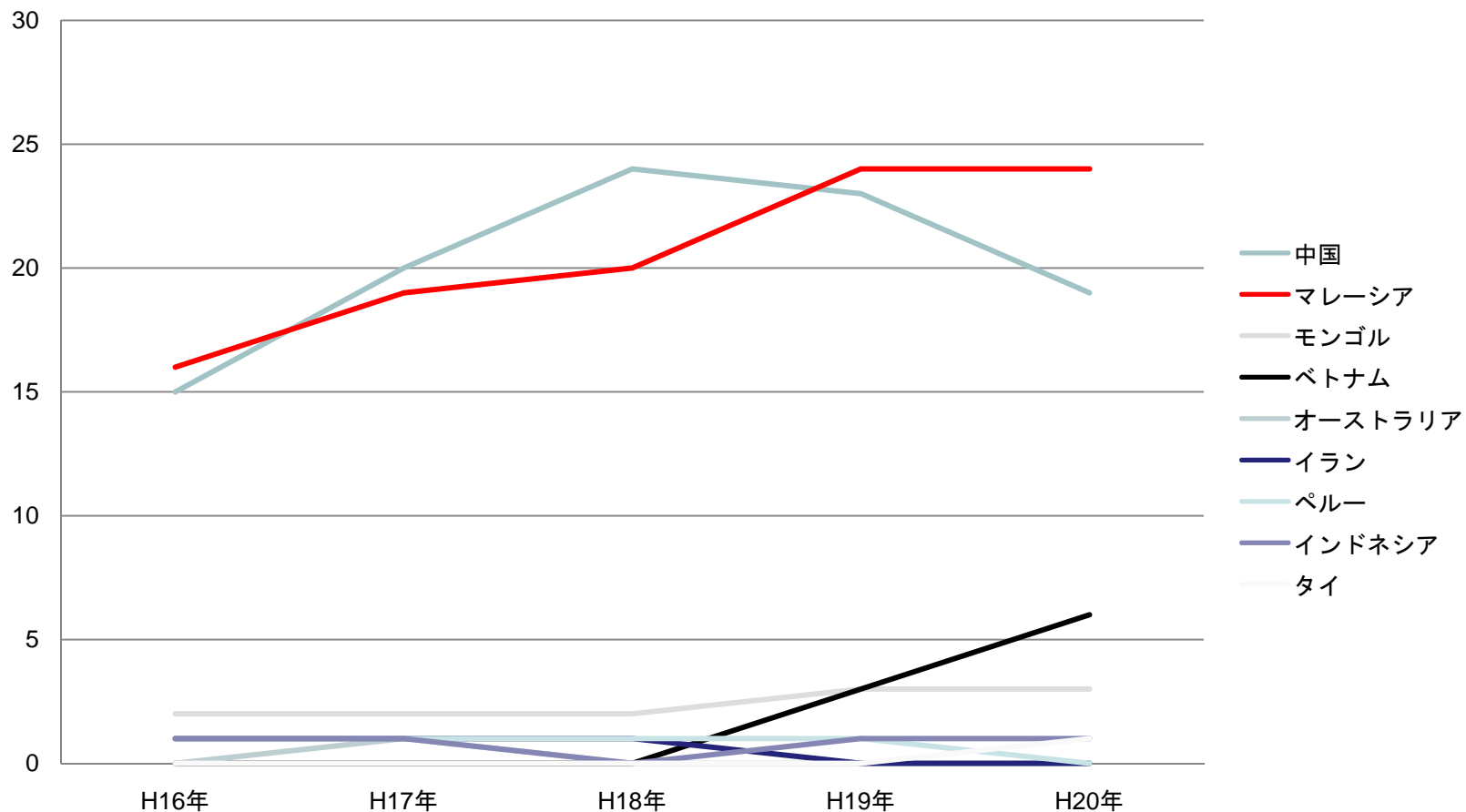
工学資源学の留学生

外国人留学生数 (H16-H20)



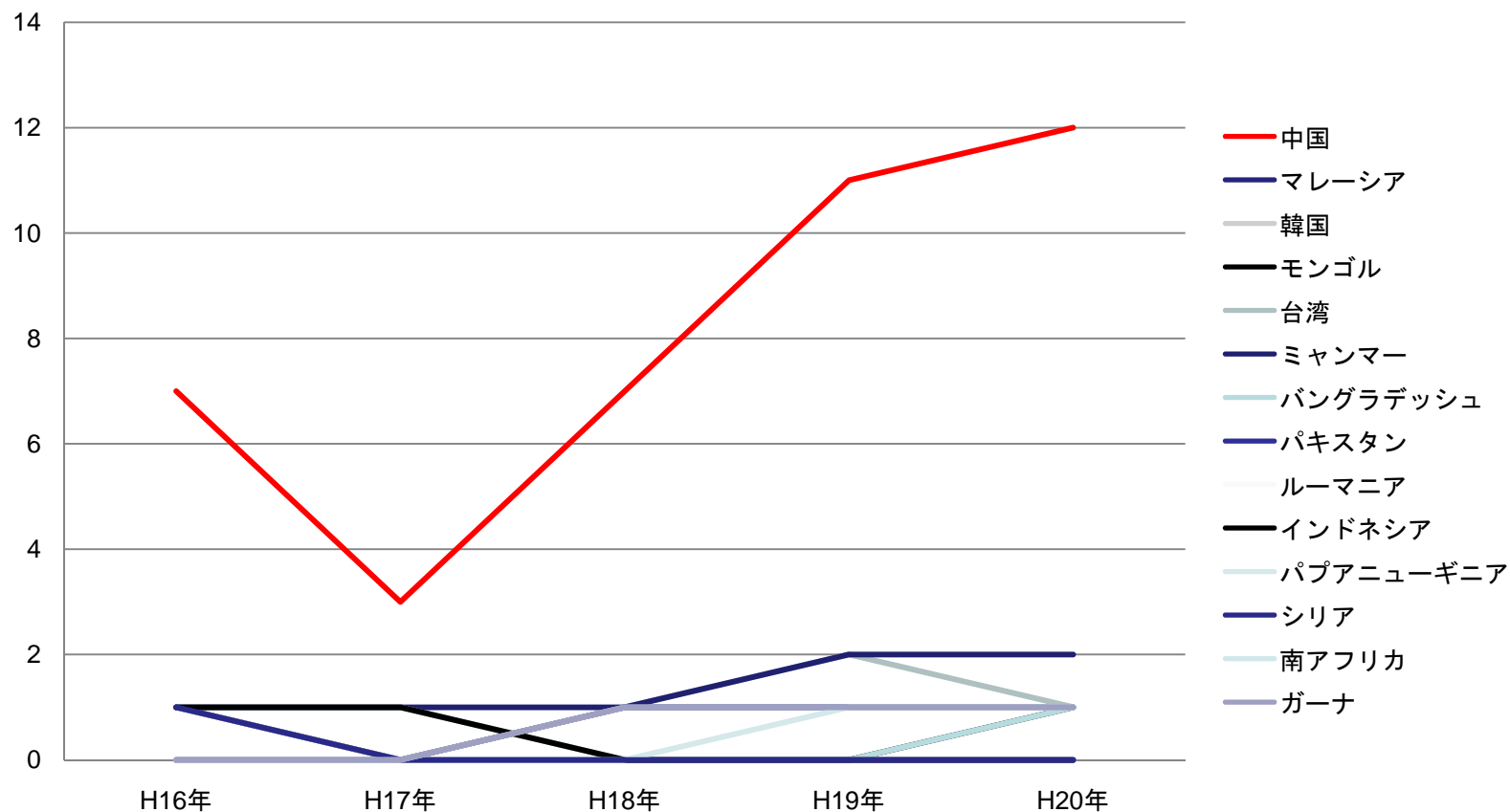
工学資源学の留学生

外国人留学生数（学部） 一国別




工学資源学の留学生

外国人留学生数（大学院）一国別



協定校

- 中国 清華大学精密儀器与機械学系
清華大学化学系
- タイ チェンマイ大学工学部
チェンマイ大学 理学部
- ザンビア ザンビア大学鉱山学部
ザンビア大学工学部
- チュニジア スファックス大学工学部
- アメリカ モンタナ鉱物理工科大学
ミズーリ科学技術大学
- ドイツ フライベルグ大学



学部としての取組み

- 英語による特別コース
- 学部国際交流基金
- TOEIC受験の支援
- ICMRの開催
- その他



英語による特別コース

- 博士後期課程で平成19年度より実施
- 外国人学生・日本人学生に対して，英語で授業を行う
- RAシステムにより，経済的支援を行う
- 入学者数：平成19年度1名，平成20年度1名

学部国際交流基金（1）

- 秋田大学工学資源学部国際交流基金
 - 設立75周年の記念事業
- 外国人留学生への奨学金援助
 - 2万円/月×9人×12か月（平成20年度）
- 学生の海外渡航経費
 - 15万円/1人×4名（平成20年度予算）
- 学生の海外留学渡航経費
 - 10万円×2名（平成20年度予算）



学部国際交流基金（2）

- 国際研究集会派遣費（研究者支援）
 - 20万円×6名（平成20年度予算）

TOEIC受験の支援

- 平成19年度より，学部の経費で新入生が受験
- ほぼ100%の学生が受験
- 英語学習の動機付け
- 3年次にも支援を検討中
- 来年度より，TOEICの学習に向けた授業科目を開設予定

I C M R の開催

- I C M R（素材物性学国際会議）
 - ・ International Conference of Materials Engineering for Resources
- 日本素材物性学会，工学資源学部との共催
- 素材，資源，環境等の研究分野における将来の総合化に向けての研究発表・討論を行う
- 1991年，1994年，1998年，2001年，2005年に開催
- 次回は，2009年10月開催予定
- 国内外から著名な研究者を招へい（それぞれ20名程度）
- 大学院学生の英語による研究発表

国際シンポジウムの開催

- 「バーチャル技術を利用した高齢者のための検査・支援技術に関する」国際シンポジウム
 - 平成18年2月28日開催
 - 秋田大学, 名城大学, 清華大学, MIT
- 「モーションキャプチャの福祉応用に関する」国際シンポジウム
 - 平成19年2月27日開催
 - 秋田大学, 清華大学, MacGill大学
Polhemus社 (USA)

外国人研究員の採用・招へい

- ベンチャービジネスラボトリー
 - ベンチャー型創造的若手研究者の育成
 - 研究員：学内教員、大学院学生
 - 非常勤研究員：大学院博士課程修了者
 - 独創的研究開発推進のための外国人研究員の特別招へい

- 附属環境資源学研究センター
 - 外国人客員研究員制度

おわりに

- 留学生の増加
- 学生交流の充実
- 英語による教育プログラムの充実
- 協定校の増加